

令和8年（2026年）9月8日	資料4
第2回検討委員会	

一体的運営に求められる要素の検討

1 ①. 本日の検討事項

- ✓ 第1回検討委員会で示された視点と、並行して進めてきた機能分化の検討から見えてきた視点を踏まえ、一体的運営に求められる要素を検討していく。

専門的知見

第1回検討委員会で示された視点

- 一体的運営の必要性を確認した。
- 各委員の専門的知見から、一体的運営を考えるうえで重視すべき点について、幅広く意見をいただいた。
- 望ましい一体的運営を考えるうえで重視すべき視点が示された

医療現場の視点

機能分化の検討から見えてきた視点

- 両病院の関係者による会議において、医療現場の視点から実現可能性を踏まえながら、機能分化の基本的な考え方を検討してきた。
- 機能分化を実現するために必要となる視点が見えてきた

地域全体の視点

これまでの再編議論で示されてきた視点

- 地域医療構想調整会議など、これまでの再編に関する議論において、将来にわたり地域の医療提供体制を維持していく観点から様々な意見が示された。
- 地域全体の医療提供体制を持続可能なものとするための視点

第2回検討委員会

- 上記視点を踏まえ、機能分化を実現し、将来にわたり持続可能な医療提供体制とするため一体的運営に求められる要素を検討する。

1 ②. 一体的運営に求められる要素（案）

- ✓ 第1回検討委員会で示された視点と、機能分化を実現するために必要な視点等を踏まえ、一体的運営に求められる要素を検討した。
- ✓ 各項目について、特に重視すべきもの、欠かすことのできないものについてご意見いただきたい。

観点	NO	要素	内容
患者・医療機能	①	患者・病床の円滑な調整	病床状況等を踏まえ、患者移送や病床利用を両病院全体で円滑かつ迅速に調整できるか
	②	役割分担に基づく医療機能の確保	救急、手術、入院機能等について、両病院で定めた役割分担を実際の診療や運用に反映し、必要な医療を確保できるか
人材	③	医療人材の安定的な確保	大学等からの医師派遣を含め、両病院が担う機能に必要な医療人材を安定的に確保できるか
	④	人員配置の柔軟性	必要な医師・看護師等を、両病院の役割や診療状況に応じて柔軟に配置・調整できるか
	⑤	職員の定着	継続して人材を確保・定着できる勤務環境等を確保できるか
経営・財政	⑥	損益・負担の調整	機能分化によって生じる両病院間の収益・費用・負担の偏りを調整できるか
	⑦	経営の持続性	両病院が役割を担いながら、持続可能な経営を確保できるか
意思決定・調整	⑧	意思決定の実効性	患者、人材、機能移行等について、両病院の視点から必要な判断を行い、迅速かつ着実に実行できるか
早期移行・持続性	⑨	一体的運営の移行スピード	必要な意思決定や制度・組織上の手続きを踏まえ、一体的運営を可能とする体制へ円滑かつ迅速に移行できるか
	⑩	医療提供体制の持続性、地域全体での最適化	将来にわたり地域に必要な医療機能を維持できるよう、地域全体で医療資源を有効に活用できるか